

# 職歴に関する申立書

私の職歴は、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記

- 1 勤務先の名称 \_\_\_\_\_
- 2 勤務期間 平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日  
平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日  
平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日
- 3 勤務形態 (該当に○) 正規職員 ・ パート(アルバイト) ・ 臨時職員 ・ 嘱託職員 ・ 非常勤職員  
会計年度任用職員 ・ 契約社員 ・ その他( )
- 4 勤務内容 (具体的に) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- 5 勤務日数 週 日 ・ 月 日
- 6 勤務時間数 一週間当たり 時間 分
- 7 在職証明書が提出できない理由 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- 8 職歴の確認書類 年金加入記録の写し ・ 雇用契約書の写し  
その他( )

注) 「5 勤務日数」欄は、おおよその日数で構いません。

注) 「6 勤務時間数」欄は、可能な限り記載してください。

なお、記載に当たっては、休憩時間を除いた一週間当たりの実働時間数を記載してください。

例) 実働8時間(9:00~18:00(休憩1時間))×週5日=週40時間

注) 週当たりの勤務時間数が一定でない場合は、平均的な週当たりの勤務時間数を記載してください。

注) 「8 職歴の確認書類」欄は、上記の職歴が確認できる書類に○をした上で、この申立書とあわせて提出してください。

代表的な確認書類として、年金加入記録の写しや雇用契約書の写し等があげられますが、その他にも、当時の給与明細や雇用保険の離職票の写し等、参考になる書類があれば提出してください。

注) 「8 職歴の確認書類」が提出できない場合、本申立書を提出する必要はありません。

令和 年 月 日

住 所 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

印

# 職歴に関する申立書

私の職歴は、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記入例

記

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1 勤務先の名称             | 沖縄学習塾   |
| 2 勤務期間               | 平成令和 2 年 4 月 10 日 ~ 平成令和 2 年 8 月 31 日<br>平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日<br>平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日 |
| 3 勤務形態<br>(該当に○)     | 正規職員・パート(アルバイト)・臨時職員・嘱託職員・非常勤職員<br>会計年度任用職員・契約社員・その他( )   |
| 4 勤務内容<br>(具体的に)     | 中学3年生を対象とした数学の授業<br>中学1年生から中学3年生を対象とした自習室のチューター   |
| 5 勤務日数               | 週 6 日・月 24 日  |
| 6 勤務時間数              | 一週間当たり 30 時間 分  |
| 7 在職証明書が<br>提出できない理由 | (例) 倒産したため<br>(例) 人事記録が残っていないため   |
| 8 職歴の確認書類            | 年金加入記録の写し 雇用契約書の写し<br>その他( 給与明細の写し )  |

注) 「5 勤務日数」欄は、おおよその日数で構いません。

注) 「6 勤務時間数」欄は、可能な限り記載してください。

なお、記載に当たっては、休憩時間を除いた一週間当たりの実働時間数を記載してください。

例) 実働8時間(9:00~18:00(休憩1時間))×週5日=週40時間

注) 週当たりの勤務時間数が一定でない場合は、平均的な週当たりの勤務時間数を記載してください。

注) 「8 職歴の確認書類」欄は、上記の職歴が確認できる書類に○をした上で、この申立書とあわせて提出してください。

代表的な確認書類として、年金加入記録の写しや雇用契約書の写し等があげられますが、その他にも、当時の給与明細や雇用保険の離職票の写し等、参考になる書類があれば提出してください。

注) 「8 職歴の確認書類」が提出できない場合、本申立書を提出する必要はありません。

令和 7 年 2 月 1 日

住所 那覇市泉崎 1-0-0

電話番号 090-1234-5678

氏名 新採 二郎 新採 印